

私たちの公開質問に対する都教委の回答（2024年10月24付）

質問（1）

生徒募集停止の理由に「困難を抱える生徒の受入環境充実のための再編」をあげていますが、困難を抱える生徒が多くいる夜間定時制こそ、募集停止ではなく、もっと環境を充実させるべきではありませんか。

都教委回答（1）

夜間定時制については、多様な生徒が在籍しており、自立した人材を育成している一方で、生徒数減少により、学習・教育環境に課題が生じています。このため、一部の夜間定時制課程を募集停止するとともに、その他の夜間定時制課程については引き続き、生徒の学びを支援していくこととしています。

質問（2）

5校の生徒募集停止の代替となる学校はどこを想定していますか。チャレンジスクールや昼夜間定時制には工科高校、商業高校の受け皿になる施設等はありませんがこのことについてどう考えますか。

都教委回答（2）

都内にはチャレンジスクールが予定を含め7校、昼夜間定時制高校が6校あり、専門性を身に付けることができる科目を設定している学校もあります。

また、夜間定時制課程についても引き続き34校で開設し、その中には工科高校が8校、商業高校が3校、他にも産業科や総合学科など専門性を身に付けられる学校を開設している学校があります。募集枠についても十分な余裕があります。

質問（3）

生徒募集停止の計画を立案するにあたって、5校を訪問し、直接、各校の教育環境を調査しましたか。

都教委回答（3）

チャレンジサポートプランの策定にあたっては、各種調査を実施しています。

質問（4）

新たに募集停止となった5校の教職員やPTA、同窓会、生徒などの関係者に募集停止の説明を行いましたか。今後、説明をする予定はありますか。

都教委回答（4）

チャレンジサポートプランについては、関係者へ既に説明しています。